

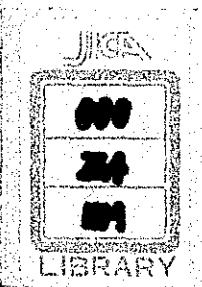
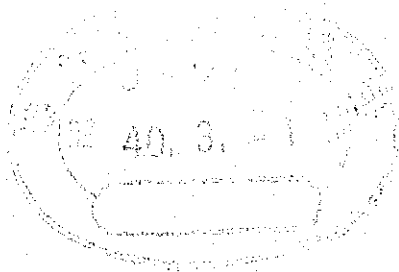
B

D-27
4

技術移住者講習会用テキスト

№. 2

## 技術移住者の携行荷物等について ( 1 9 6 5 . 2 )



海外移住事業団技術移住課

# 国際協力事業団

受入 月日	84. 8. 20	000
		23.4
登録No.	13284	EM

技術移住者の携行品については、めいめい事情が相違していますので、一般的にいうのは難かしいのですが、以下述べる注意を念頭において、渡航後ブラジルでの当初の生活ができるだけ円滑にゆくよう考え、携行品を選定していただきたいと思います。

## 1 一般的注意事項

- (1) 移住者の携行荷物としてブラジルで無税通関できるといわれているのは、一般的に生活のため直接必要な引越荷物及び職業用具です。

職業用具とは、技術移住者の場合、バイト等の工具類並びにノギス、ゲージ類等の測定具類などをいいます。一般工業用機械類は、職業用具のうちに含まれません。

- (2) 現地にいる関係知人その他から依頼された托送品等は、携行荷物と認められないので、できるだけ断わること。もし托送を依頼された場合には、その内容をよくききあわせ、特に高価な装飾品や商品とまちがわれる品物である場合は、ブラジルの税関で多額な関税を課せられたり、没収されることもありますので、絶対に引受けを断わること。

なお、関税は個々の品目について課せられますが、他の荷物もそれ相応の見方をされ、他の人には課せられないような品目についても、関税を支払うような破目になる場合があります。

## 2 携行荷物について

技術移住者は、サンパウロ市又はその周辺衛星都市で都会生活を送ることになりますので、そのことをよく考慮して携行する物品を選択してください。

JICA LIBRARY



携行品に関係のあるサンパウロ市の事情について次に簡単に述べてみます。

サンパウロ市の気候は、最も寒い7月、8月で、日本の11月下旬程度です。同市では食料品は、日本の品物は何でも入手することができます。勿論、ブラジル食に早く慣れることが必要ですが、日本食をつくることは充分可能です。また、住宅については、家族持ちの人はアパートに入るのが通常ですが、規模は、客間1、寝室、台所、浴室が最少で、家具類付でないのが殆んどであります。浴室には西洋式の風呂があり、西洋便所がついています。単身者は、ペンソン(下宿)に入るのが通常ですが、ペンソンは1室に3~4人のベッドがあり、同居することになります。食事は、朝食・夕食の2食つきです。単身者のうちには、区切りのあるアパートの1室に入居する人もいますが、この場合は、食事は外食です。

携行荷物は、単身者と家族持ちの方ではかなり異つてきます。また、以下は携行品についてのほんの例までであり、一般的注意でありますから、参考にする程既にしていただき、各自でよく考えて携行の品物をきめてください。

#### (1) 衣 関 係

価格は、日本と変わりませんが、品質は日本より劣ります。特に、テトロン、ナイロン関係の衣類は、高価です。

#### イ、背 広

手持品は、なるべく全部携行すること。

新調する場合は、冬服は余り着る機会がないので、合衣服をつくるのがよい。

#### ロ、コート類

冬オーバーは携行する必要がありません。スプリング、コート、レインコート、ダスター・コート等のコート類は、手持品を携行すること。

#### ハ ワイシャツ類

テトロン、ナイロン関係のワイシャツ、ホンコンシャツ等は、各人の好みにもよることですが、なるべく多く持参する方がよいと思います。ただし箱に入れたままで持参すると、商品とみなされ、関税がかかる恐れがあります。

#### ニ 下着類、靴下

冬シャツ、冬ズボンの着用期間は短いですが、必要です。

下着類及び靴下は、ナイロン、テトロン品をなるべく持参するのがよいでしょう。

#### ホ 靴

日本より品質は若干劣ります。特に、新規購入しなくてもよいと思いますが、新調する場合は、黒色かチョコレート色か茶色がよい。

#### ヘ 作業衣、安全靴

ブラジルの会社は、日本の会社のように従業員用作業衣、安全靴等を支給する会社が少ないので、手持ちの作業衣、安全靴等を携行すること。

#### ト その他

携帯用折たたみ傘、ネクタイ、運動靴、スリッパ等が考えられる。

#### チ 注 意

和服類、下駄、草履などの和装用品は、殆んど着る機会がない。従つて、家族持ちの方が自宅でくつろぐ程度の手持ち品

を持参すればよいでしょう。特に、新調する必要はありません。

(2) 食関係

イ、単身者の場合は、ペンソン(下宿)の食事をとるか外食になるので、携行する必要品は余りない。

ロ、家族持ちの方は、携行しないと渡航してからすべて揃えなければならないので、現在手持ちの台所用品及び食事用品は、できるだけ携行すること。なお、食器類を新調する場合は、瀬戸モノはやめ、瀬戸引又はアルマイト類がよい。手持ちのミシンなども携行した方がよい。また、味噌、醤油の類若干、椎茸、カンピョウ、コンブ、ワカメ等の乾燥食糧品類若干を携行した方がよいでしょう。

(3) 住関係

寝具類(フトン、毛布、敷布、枕など)全部そのまま持参した方がよいと思います。

家族持ちの方は、いろいろ必要品がありますが、家具、調度類のうち、大きなものは輸送費がかさむ関係上、渡航後現地でのとのえるほかないと思います。

(4) 電気製品等

テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機、ラジオ、カメラ等は、ブラジルでは非常に高価なので、関税がかかる恐れはありますが、手持品は携行する方がよい。なお、同一種類のを二個以上携行すると、必ず関税がかかります。また、単身者は、ペンソンかアパートの一室に入居するのが普通ですから、テレビ、冷蔵庫、洗濯機等は携行すると、かえつて困るでしょう。

なお、サンパウロ州の電気のサイクルは関西サイクルと同一地域の地域が多いですから、日本品をそのまま使用できますが、コ

ンデンサーをつけるか、部品を取りかえないと損傷が早いからです、注意してください。

(6) 教育及び娯楽品等

イ 現在使用しているもの、今後役に立つ、と考えられる子供の教科書、参考書等は携行した方がよい。

ロ 辞書、語学書を携行した方がよい。現地での購入は高価であります。なお、辞書、語学書には、次のようなものがあります。

葡和新辞典	大武和三郎	大日本印刷K.K.	¥ 2,000
和葡新辞典	・	・	¥ 1,300
ポルトガル語四週間	星 誠	大学書林	¥ 450
ブラジル会話	友田 金二	天理時報社	¥ 600
基礎ポルトガル語	佐野泰彦	大学書林	¥ 450

其他

ハ 携帯用碁、将棋、カルタ等の娯楽用具、運動用具なども趣味のある人は携行した方がよい。

ニ 家庭常備薬（風邪薬、胃腸薬、頭痛薬等）若干を携行した方がよい。

(6) その他特に注意すべき事項

イ 技術関係の専門書、雑誌は現地で入手しにくいので、現在所有しているもののほか、できるだけ多く購入して携行すること。

なお、ブラジルに着いてから注文入手すると、非常に高価になり、また期間を要するので、渡航前に親戚、知人等と連絡をつけておき、必要な場合依頼すれば送付してもらえるような手筈をととのえておくことよいでしょう。

ロ ブラジルでは、全体的に工具類、測定具類が不足していて高いので、工具、測定具中マイクロメーター、ノギス等は携行した方がよい。その他の工具、測定具でも、自分の使いなれたものがあつたら、できるだけ携行した方がよい。これらは日系、外国系の大企業では持参する必要のないところもあります。

なお、単位としては、インチとミリの双方が使用されていますので、例えば、マイクロメーターを携行する場合、インチ、ミリ共用のもの、又はミリとインチの両方を携行するとよい。

ハ 学校の卒業証書、技術・技能に関する免許、証明書等は必ず携行すること。

また、自動車免許を所持している人は、国際免許証をもらつて行くとい。

### ◎ お 願 い

このテキストは、皆さんが渡航荷物をととのえる際の参考にしていただくために編集したのですが、まだ、十分なものではありません。今後、内容を充実していくために、最も参考となるのは、皆さんの体験と意見です。皆さんが渡航されてから、こういう物を持つてくればよかつたとか、或いは、こんな物は不要であつたということが必ずあると思います。皆さんの後から技術移住していく方々のため、ブラジルからのお便りをお待ちしています。宛先は、次のとおりにしてくださるようお願いいたします。

東京  
都  
港  
区  
赤  
坂  
田  
町  
七  
ノ  
一  
業  
海  
団  
外  
技  
移  
住  
術  
住  
住  
課  
移  
事

Japan Emigration Service

Tokyo, Japan



